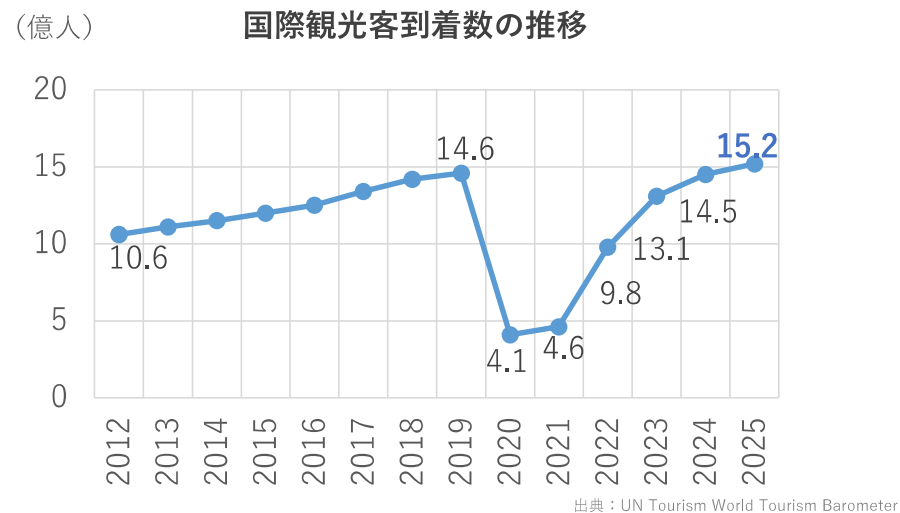


世界の観光動向と東京

世界の国際観光客数

- 2025年の国際観光客到着数は推定**15億2,000万人**とコロナ禍前を上回る
- 世界観光機関（UN Tourism）によると、2026年の国際観光客数は**2025年比3～4%成長**すると予測



外国人旅行者受入数ランキング

- 日本の2024年の外国人旅行者受入数は**3,687万人**で**世界10位（アジア2位）**

外国人旅行者受入数ランキング（2024）

2024年 外国人旅行者数（受入数）（国連統計）

順位	国名	単位：千人	注
1	フランス	102,000	
2	スペイン	93,759	
3	米国	72,400	
4	中国	65,725	2
5	トルコ	60,600	13
6	イタリア	57,725	25
7	メキシコ	45,039	13
8	イギリス	38,230	
9	ドイツ	37,420	6
10	日本	36,870	5

出典：グローバルノート・国際統計・国別統計専門サイト

世界各都市における国際会議の開催状況

- 2024年の開催実績で東京は16位
(アジア太平洋地域では4位)

主要都市の国際会議開催件数（2019年→2024年比較）

2019年		
順位	都市名	開催件数
1	パリ	237
2	リスボン	190
3	ベルリン	176
4	バルセロナ	156
5	マドリード	154
6	ウィーン	149
7	シンガポール	148
8	ロンドン	143
9	ブラハ	138
10	東京	131



2024		
順位	都市名	開催件数
1	ウィーン	154
2	リスボン	153
3	シンガポール	144
4	バルセロナ	142
5	ブラハ	131
6	パリ	124
6	ソウル	124
8	バンコク	115
9	ローマ	114
16	東京	97

※ICCA基準でオンライン会議は除外

資料：ICCA「StatisticsReport2019」及び「2022 ICCA Ranking」を基に東京都作成

世界における観光都市としての評価

- 東京は観光客から魅力的な都市として高く評価

観光客が評価する都市ランキング

	2023年	2024年	2025年
1位	ロンドン	ロンドン	ロンドン
2位	東京	東京	東京
3位	パリ	パリ	パリ
4位	ドバイ	ニューヨーク	ドバイ
5位	アムステルダム	ドバイ	ニューヨーク
6位	ニューヨーク	マドリード	マドリード
7位	イスタンブール	モスクワ	モスクワ
8位	マドリード	イスタンブール	イスタンブール
9位	モスクワ	アムステルダム	バンコク
10位	シンガポール	シンガポール	上海

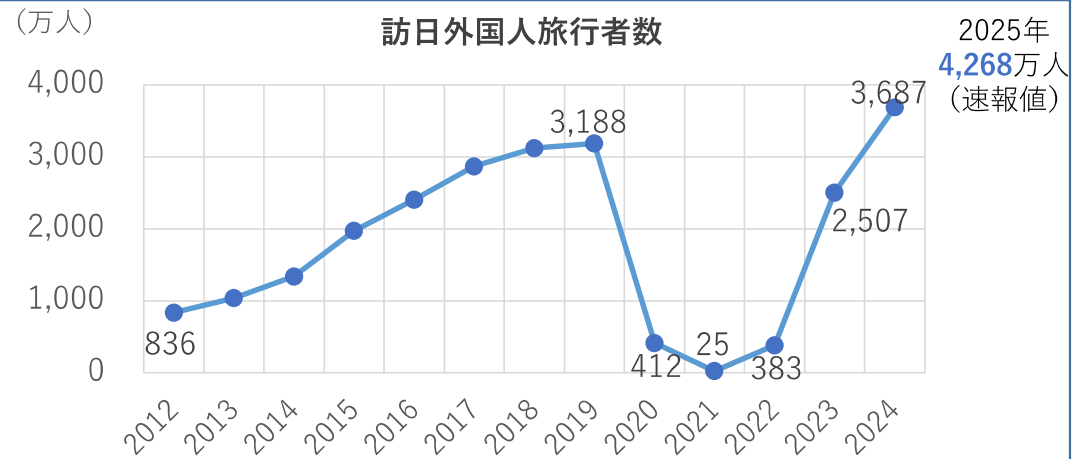
出典：森記念財団「Global Power City Index」Global Actor~Tourist~

観光に関する主要動向

日本の観光動向

訪日外国人旅行者の推移

- 2020年以降、コロナ禍の影響により訪日外国人数は激減
- 2025年は**4,268万人**、過去最高を更新



出典：日本政府観光局 (JNTO) 「訪日外客数」

訪日外国人の消費動向

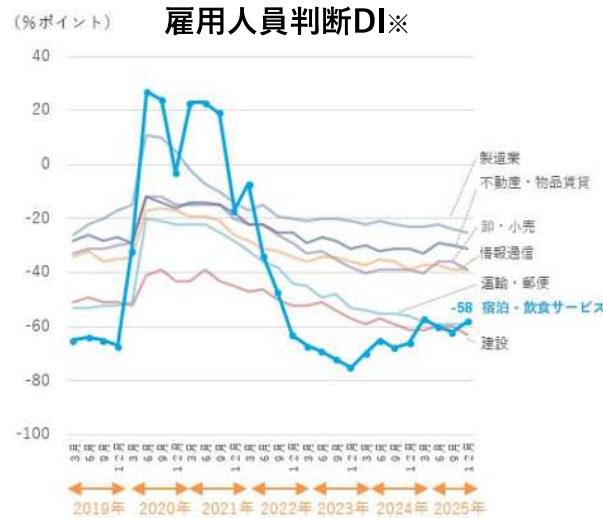
- 2025年の訪日外国人旅行消費額は、**9.5兆円**で過去最高を更新
- 訪日外国人**1人当たり旅行支出**は**22.9万円**で、2019年同期比**44.0%増**



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、「インバウンド消費動向調査」(観光庁)より東京都作成

観光産業における人材不足 ①（人材需給のひっ迫状況）

- 旅行需要の回復に伴い、**人材の需給がひっ迫**
- 2025年12月の**雇用人員DI**では**マイナス58ポイント**となり、**人材不足が深刻な状況**

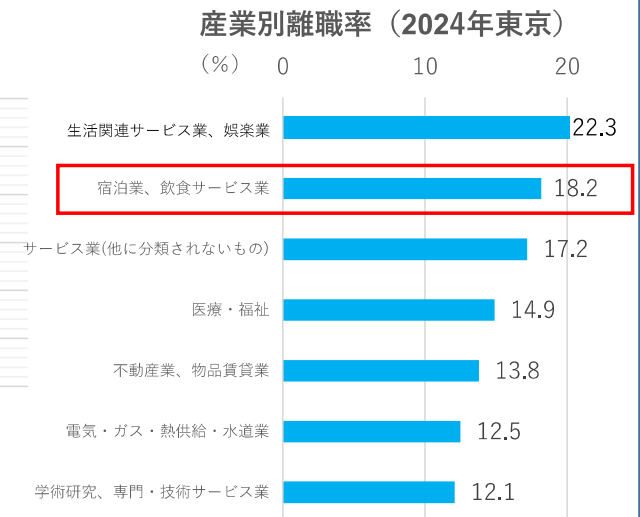
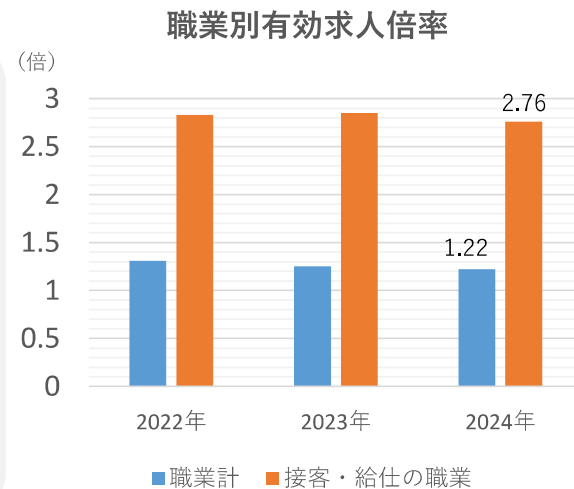


※雇用人員が「過剰」と答えた企業の割合から「不足」とした企業の割合を差し引いたもの

出典：日本銀行 全国企業短期経済観測調査（短観）

観光産業における人材不足 ②（有効求人倍率・離職率）

- 観光産業を支える「**接客・給仕の職業**」の**有効求人倍率**は**相対的に高い**
- **宿泊業・飲食サービス業**の**離職率**は他産業と比べて**高く、人材の定着が課題**



出典：厚生労働省「職業安定業務統計」

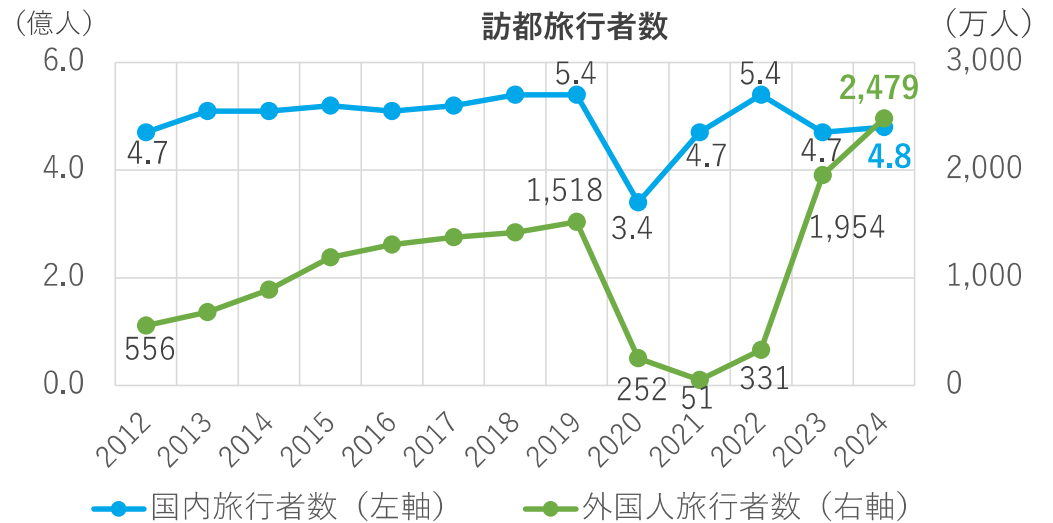
出典：「政府統計の総合窓口(e-Stat)」厚生労働省「雇用動態調査」

観光に関する主要動向

東京の観光動向

訪都旅行者数の推移

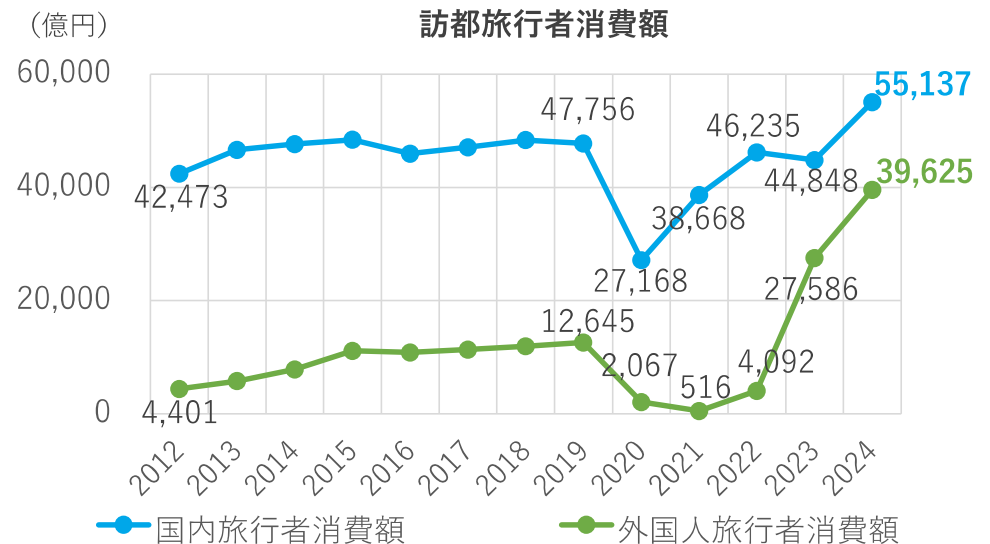
- 2024年に東京を訪れた**国内旅行者数**は約**4.8億人**、**コロナ禍前の水準**まで**未回復**
- 外国人旅行者数**は約**2,479万人**で**過去最高**を更新



出典：東京都観光客数等実態調査
 (注) 2021年は、新型コロナの影響で第1～第3四半期の調査を中止したため、第4四半期の調査結果を4倍して算出

訪都旅行者消費額の推移

- 国内旅行者・外国人旅行者**とも、**2024年の消費額は過去最高**



出典：東京都観光客数等実態調査
 (注) 2021年は、新型コロナの影響で第1～第3四半期の調査を中止したため、第4四半期の調査結果を4倍して算出

外国人旅行者の訪都目的

- 外国人旅行者が東京を訪れる目的としては、**食事、街並みや景観、ショッピング、伝統文化の体験**などが上位

外国人旅行者の訪都目的

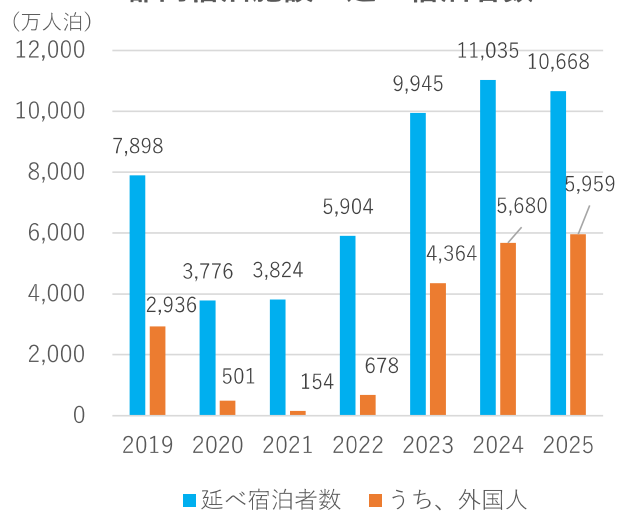


出典：東京都「令和6年 国・地域別外国人旅行者行動特性調査」

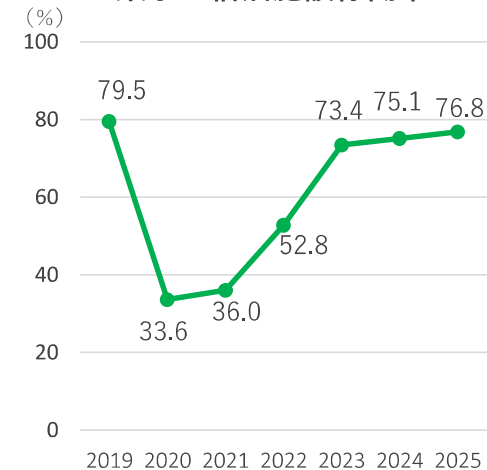
都内宿泊施設の状況

- 都内の延べ宿泊者数は、前年比減少するも、外国人の延べ宿泊者数は過去最高を更新
- 稼働率もコロナ禍前の水準に近づく

都内宿泊施設の延べ宿泊者数



東京の宿泊施設稼働率



いずれも出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」(注)2025年は速報値

観光と住民の生活環境との調和

- 都民は、観光客の増加がもたらす効果として、地域経済の活性化や税金の増加等を認識している
- 一方で、日常生活に与える影響として、治安の悪化やごみのポイ捨て増加、混雑などが挙げられている

観光客の増加が東京にもたらす効果※

地域経済の活性化	36.6%
税金の増加	33.7%
飲食店や商業施設の増加	28.1%
雇用機会の増加	17.4%
異文化交流の促進	17.0%
交通機関や道路の充実	16.6%

観光客の増加が日常生活に与える影響※

治安の悪化	41.3%
ごみのポイ捨ての増加	40.7%
交通機関や道路の混雑	34.6%
飲食店や商業施設の混雑	25.5%
文化財などへの迷惑行為	25.4%
観光客による騒音	22.4%

※複数回答

出典：東京都「令和7年度 持続可能な観光振興に向けた調査」

民泊の状況

- 住宅宿泊事業法に基づく都内の届出住宅数は近年増加が続く

住宅宿泊事業法に基づく都内の届出住宅数



資料：観光庁ホームページを基に東京都作成

宿泊税の見直し

東京都宿泊税条例（一部改正）

〔概要〕

観光の状況をはじめとした宿泊税を取り巻く環境の変化を踏まえた見直しを図ることで、持続可能な観光振興を財政面から支えていくため、宿泊税の用途や賦課徴収について所要の改正を行う。

- 1 宿泊税の用途の範囲を、都の観光施策に関する計画に基づく施策とすることを明確化する。
- 2 課税対象に簡易宿所と民泊の利用者を追加する。
- 3 課税免除基準の額を、一人1泊当たり宿泊料金10,000円未満から13,000円未満へ引き上げる。
- 4 課税方式を定率制に変更し、宿泊料金に3%を乗じた額を税額とする。

（現 行）

税率：宿泊料金一人1泊

10,000円以上15,000円未満の宿泊 100円

15,000円以上の宿泊 200円 ※10,000円未満は課税免除

（改正後）

一人1泊当たり宿泊料金の3% ※13,000円未満は課税免除

- 5 申告納入の手続について、3か月に一度の申告とする特例申告の要件を緩和する。

〔施行期日〕

東京都規則で定める日